

【主な評価結果】

主要活断層帯や海溝型地震の発生可能性を評価し、公表しています。

平成20年12月までに、糸魚川-静岡構造線断層帯など主要な105の活断層帯と、7つの海域で発生する海溝型地震に関する評価を公表しています。

地震調査研究推進本部ホームページ http://www.jishin.go.jp/main/p_hyo ka02.htm

主要活断層帯の評価結果

約2,000の活断層の中から、M7程度以上の規模の大きい地震が発生する可能性が高く、社会的・経済的影響の大きい活断層を選び、地震が発生した場合の規模(マグニチュード)や、発生確率(今後30年以内に地震が起こる確率など)を評価しています(平成20年12月)。



主な海溝型地震の評価結果

海溝型地震のうち、南海トラフの地震(東南海・南海地震)、三陸沖から房総沖にかけての地震(宮城県沖地震を含む)などについて、地震が発生した場合の規模(マグニチュード)や、発生確率(今後30年以内に地震が起こる確率など)を評価しています。

